

広報 苓北

れいほく

安心して住める町／いきいきと暮らせる町／ふるさこと呼べる町

2022
December

12

vol.708

地域の魅力 再発見 /



12月11日 坂瀬川みどごろ巡り

令和4(2022)年12月21日発行 [毎月21日発行]

地域おこし協力隊「特別企画」
4~7ページ



2021年12月末 人口6,758人 → 2022年11月末 人口6,577人

⑪リニューアルしたビジターセンター ⑫芥北町物産館に新しくオープンした「福田さんのオリーブ園。」 ⑬産業文化祭では消防体験も⑭笑顔であふれた夕やけマラソン ⑮巴湾に突如出現したクジラ ⑯坂瀬川みどころめぐり ⑰RKK器楽合奏コンクールで金賞・審査員特別賞を受賞した富岡小器楽部 ⑱落語家 林田卯三郎さん 人権講演 ⑲新たに始まった芥北朝ごはんプロジェクト ⑳バスキヤラバンで訪れた日本サッカー協会田嶋幸三会長と子どもたち

①夜空に舞い上がった花火 ②ひまわり号と高道修二さん ③宮内団長の指揮のもと新体制となった芥北町消防団 ④サラシを巻き神輿をかづぐたくましい男衆(裸祭り) ⑤自著を発刊した神崎雄史郎さん ⑥かわいらしい新1年生 ⑦オーケストラの指揮を経験した小学生 ⑧見頃を迎えた天竺のツツジ ⑨多くの観客を魅了した窯元の自信作 ⑩芥北旋風を巻き起こした芥中女子バスケ部

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	1月	
11日 「坂瀬川みどころめぐり」 3年ぶりに開催	12日 「芥北町産業文化祭」開催 約1,200人が来場	5日 W杯サッカー日本代表を応援する「バスキヤラバン」にあわせ、日本サッカー協会の田嶋幸三会長が来町 「芥北夕やけマラソン」	3日 RKK器楽合奏コンクール 富岡小・芥北中が金賞	7日 秋の窯元めぐり 約1,700人が来場	17日 富岡ビジターセンター リニューアルオープン 落語家林家卯三郎氏の講演	20日 芥北町人権学習会 会・研究会議が開催 高道修二さん「ひまわり号」が首席獲得	28日 芥北町物産館に「福田さんのオリーブ園。」が移転オープン 第12回全国和牛能力共進会 高道修二さん「ひまわり号」が	14日 第39回全国町村下水道推進大会 芥北町の投票率は56.86% 芥北ざわやかクリーン作戦 第26回参議院議員通常選挙 芥北郡市中体連に芥北中が全7種目に出演 女子バスケ部が準優勝	10日 東京フィルハーモニー交響楽団 坂瀬川小学校で公演 天草郡市中体連が新校舎お披露目 47人が新1年生に	1日 春の窯元めぐり 約3,500人が来場	28日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行う 巴湾にクジラが出現
4日 芥北町成人式 67人が新成人に	4日 シーグレット花火 真冬の芥北を彩る	4日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行う 巴湾にクジラが出現	4日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	4日 神崎雄史郎さん 「上津深江の祭礼と行事」を出版	4日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	4日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	4日 芥北町成人式 67人が新成人に	4日 シーグレット花火 真冬の芥北を彩る	4日 芥北町成人式 67人が新成人に		
10日 芥北町成人式 67人が新成人に	10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	10日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	10日 神崎雄史郎さん 「上津深江の祭礼と行事」を出版	10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	10日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	10日 神崎雄史郎さん 「上津深江の祭礼と行事」を出版	10日 芥北町成人式 67人が新成人に	10日 芥北町成人式 67人が新成人に	10日 芥北町成人式 67人が新成人に		
20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に	20日 芥北町成人式 67人が新成人に		

6月	5月	4月	3月	1月
18日 芥北支援学校が新校舎お披露目 坂瀬川小学校で公演 天草郡市中体連が新校舎お披露目	13日 東京フィルハーモニー交響楽団 坂瀬川小学校で公演 天草郡市中体連が新校舎お披露目	1日 春の窯元めぐり 約3,500人が来場	1日 春の窯元めぐり 約3,500人が来場	1日 春の窯元めぐり 約3,500人が来場
10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に	10日 芥北町消防団辞令交付式 宮内和人さんが団長に
6日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	6日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	6日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	6日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに	6日 芥北中学校卒業式 59人が学び舎をあとに
20日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行 う 巴湾にクジラが出現	20日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行 う 巴湾にクジラが出現	20日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行 う 巴湾にクジラが出現	20日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行 う 巴湾にクジラが出現	20日 上津深江八坂神社「裸祭り」 男衆7人が海に入りみそぎを行 う 巴湾にクジラが出現

今年はこんな



苓北町の魅力を「やどかり太郎」としてお伝えして参ります。

地球のやどかり紀行

地域おこし協力隊 関根

特別企画 莺北の海で生きる

貝養殖の現場から



写真：産卵前の糸貝の親貝の様子

苓北町の地域おこし協力隊として着任し、約2年半が経ちました。初めて天草を訪れたのはちょうど4年前。安全・安心な旅の途中でした。都呂々浜で採れたミナ貝を食べたことで、海の食、子育ての環境を探している

旅の途中でした。都呂々浜で採れたミナ貝を食べたことで、海の草の食の豊かさを感じたことが移住のきっかけとなり、天草移住を決意し、現在に至ります。

私は、福島県中通り地方出身で、前職は施設園芸農業でキュウリを栽培する農家でした。近くに海のない地域で育った私にとって海が身近にあり、海産物が安心して食べられるという暮らしの豊かさは特別なものでした。さらに、海の環境の中で育てられた糸貝と岩ガキは苓北の海の宝物のように感じられました。

特産品は一日にしてならず。苓北の特産品である糸貝と岩ガキはどのようにして特産品になつたのか。今回改めて、貝養殖を営む(株)浜崎水産、福島水産(株)を取材しました。

地域おこし協力隊「特別企画」

「環境の変化に応じた 产品を作る」

(株)浜崎水産の取り組み

「今日、明日の飯を食うのに必死だったですよ」と当時を振り返る(株)浜崎水産創業者の濱崎盛栄さん。真珠貝の養殖業を営んでいましたが、ある年を境に真珠貝が原因不明のまま全滅し育たない状態が続きました。真珠貝に代わるものがないか模索

していた中、たまたま死んだアコヤ貝に岩ガキの稚貝が付いていたことがきっかけで岩ガキの養殖へ移行しました。

——どうして濱崎さんは、岩ガ

キを見つけ、特産品にまで育てあげることができたのでしょうか？

濱崎さん 運が良かつたんですよ。思ついたことは、何でもやる。自分で納得するまで調べ、学び、行動することですね。

「顔の見える特産品」

福島水産(株)の取り組み

今が旬の糸貝。「良い貝を育てる、お客様に美味しいと言つてもらうことが私たちの仕事」と話す福島水産(株)の福島晴喜社長。卵から貝を育て、個人宅配で生きたまま届けられる糸貝はお歳暮に人気の町の特産品の一つです。

福島水産(株)が現在の業務形態になるまでには、2つの大きな転機がありました。一つは、注文した稚貝が予定数の半分しか供給されない年が経ったことです。安定して貝を育てるためには、親貝の養殖技術の習得、稚貝を人工的に育てる採苗施設を設立し、卵から貝を育てる業務

「自然に無いものは 自然に返さない」

——(近年、苓北の海の環境変化が激しいという声を聞く機会が多かったので)急激な海の環境の変化は何が原因で起っているものなのか、私たちにできることは？

濱崎さん 原因は、一つの要因ではなく、複合的な人間の営みの結果だと考えています。自然環境を守るために、自然にない物は自然に返さない



▲貝の卵を顕微鏡で確認する福島晴喜さん

から卵を採る完全養殖というお客様に届けるために、親貝の養殖技術の習得、稚貝を人工的に育てる採苗施設を設立し、卵から貝を育てる業務

として認知されたのは、商品の魅力はもちろん、信用を積み重ねてきた結果だと感じました。

やどかり紀行」という名前で
いのう想いから「地球の
やどかり紀行」という名前で
じ地球の上で海はつながつて
いるといふから、「地球の
やどかり紀行」という名前で

（株）浜崎水産と福島水産（株）の
皆さんととても魅力的に見え
るのは、海と共にあり共同で
貝養殖を営む姿が、とても美
しく、どこか懐かしいと感じ
るからなのかもしません。

故郷・福島を離れても、同
じ地球上で海はつながつて
いるといふから、「地球の
やどかり紀行」という名前で



地域おこし協力隊

潤

▼「地球のやどかり紀行」

3・11の震災を東京で体験した私は、原発爆発後の放射能汚染の情報の中で「なぜ、福島の人は逃げないのだろう？」と疑問でした。その後、福島に帰り放射能の除染作業から農業研修をスタートさせました。そこで私の目に写ったのは、汚れた農地をどう持ちません。ふるさと生き努力する福島の人々の姿でした。大地と共にある者は他の場所で暮らすという選択肢を美しく見えました。

（株）浜崎水産と福島水産（株）の皆さんととても魅力的に見えるのは、海と共にあり共同で貝養殖を営む姿が、とても美しいと感じます。

故郷・福島を離れても、同じ地球上で海はつながつているといふから、「地球のやどかり紀行」という名前で



写真：福島水産（株）の皆さん
写真提供：錦戸俊康さん

▼海の環境の変化

以前は、苔北の特産品であった天草天領アジやサバが現在では釣れなくなっています。近年の海の変化は著しく、海水温の上昇により、海の生き物の一斉産卵がなくなつたことが海産物に大きな影響を及ぼしているのだそうです。

こうした影響は、貝も例外ではありません。貝は、元々冬の寒い時期に栄養を蓄え、温かくなつた春先に産卵しますが、昔は最低10度以下になるとこともあつた冬の富岡の海水温も次第に上昇。産卵時期がわからなくなつた貝は、栄養を蓄える前に産卵してしまい、ふ化しても正常に成長しなくなる貝も現れています。

▼海の上での共同作業

人類の暮らしの歴史を見ると、稻作が始まり、狩猟採集から稻作農耕の暮らしに変化すると領土を巡つて争いが起きるようになつたという説が

あります。さらに、現在では機械化が進み、農業は分業での作業形態が一般的です。

一方、貝養殖場は一つの海上。ほとんどは筏の上での手作業であり、共同作業で一つの家族のようにつながり合ひ、大変な仕事内容でも後進が育つ要因だと思います。

▼海で生きる「運命共同体」

初めてのあいさつ回りの際に、同じ地域、同じ場所で同じ水産物を扱う2業者がとても仲が良く、両者から出てきた「運命共同体」という言葉が強く印象に残りました。

今回の取材を通して、海の環境と運命を共にするという苔北の海に生きる者としての覚悟を感じました。海と共に荒波を乗り越えて来られた両者だからこそ出てくる言葉なのだろうと思いました。



写真：やどかり家族（都呂々浜にて）
写真提供：錦戸俊康さん

任期満了後の取り組み

「町の魅力を外モノ目線で発信する」という任務の中、取材を通して見えてきたのは、『苔北の人の魅力』でした。試行錯誤を繰り返すうちに苔北のそのままの姿を撮影し、音と映像の作品にすることが私の見つけた唯一の答えでした。

来年3月で任期満了を迎えた後も苔北町に定住し、音と映像を通じて苔北町の魅力を発信するということを続けながら町に貢献していくことを考えていました。

これからも、よろしくお願ひします。

やどかり太郎



写真：（株）浜崎水産の皆さん
写真提供：錦戸俊康さん

Part1 保険証とマイナンバー



マイナンバーカードと健康保険証を一体化し、今使っている保険証は2024年の秋に廃止するとの噂が…。カードの取得は任意だと思っていたのに、絶対作らないといけないの?

教えて!
マイナンバー



マイナンバーカードは、皆さんの申請に基づき交付されるものなので、このことを変更するものではありません。今までどおり保険診療を受けることができます。

マイナンバーカードで受診することで、これまでできなかった診療記録などをその場で引き出せるようになり、データに基づいた良い医療を受けられるようになります。

※12月4日現在 天草管内で64、町内で6の医療機関で利用できます。



マイナンバーカードと保険証を一体化したあと、カードを無くしたらどうなるの?
再発行まで時間がかかると聞いたけど。

問 行革デジタル対策室
☎35-3338



現在、紛失などで手続きをした場合、再発行に1~2カ月かかっていますが、長くても10日間程度でカードを取得できるように検討を進めています。

土日にカードの申請・交付窓口を開設 ぜひご利用ください

▶開設日時 令和5年 1月14日㊁、29日㊂ 9時~12時
2月11日㊁、26日㊂ 9時~12時
3月11日㊁、26日㊂ 9時~12時

▶持参物 通知カード、本人確認書類
▶場 所 役場ロビー

カード作成・更新・紛失に関する問い合わせは 税務住民課/☎35-1115まで

ここでちょっとブレイク♪

毎日からだを動かそう・鍛えよう!

脚の筋力トレーニング 「お尻上げ」

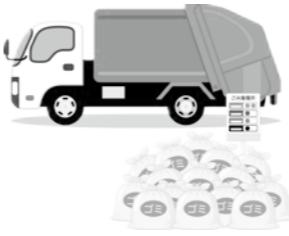
- ①仰向けに寝てひざを立てる。
- ②お尻を持ち上げる。このときからだと太ももが直線になるようにする。

Point

からだがぐらぐらしないように注意。



効果：歩きやすくなる。立ち上がりやすくなる。



年末年始のごみ収集とし尿くみ取り

問 水道環境課 担当／永野幸 ☎35-3335

年末年始のごみ収集と、し尿くみ取りを次のとおり行います。

なお、年末年始の本渡地区清掃センターへの持ち込みは大変混雑します。

なるべく各地区のごみステーションへのごみ出しにご協力ください。

●日程表

月	12月					令和5年1月				
	日	26	27	28	29	30	~	3	4	5
曜日	月	火	水	木	金		火	水	木	金
ごみ	通常収集/ ごみステーション	可燃 生ごみ	可燃 生ごみ	不燃 資源	可燃 生ごみ	休み	不燃 資源	可燃 生ごみ	可燃 生ごみ	休み
	坂瀬川 志岐	富岡 都呂々 年柄	都呂々 年柄	全地区			坂瀬川	全地区	富岡 都呂々 年柄	
	個人搬入/ 本渡地区清掃センター	平常		可燃 ※午前	休み	平常			平常	
し尿くみ取り		平常		休み	平常					

| 本渡地区清掃センターへの直接持ち込み

●持ち込み可能なごみの種類

可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、大型ごみ
※12月29日㊁、30日㊂(午前のみ)は可燃ごみのみ搬入できます。

●搬入料金

基本使用料 (50kgまで) 250円
追加使用料 (10kgごとに) 50円

問 本渡地区清掃センター ☎23-1991

| し尿くみ取り

●早めにご連絡ください

年末年始はし尿くみ取りの申し込みが集中しますので、早めのご連絡をお願いします。

問 荻北メンテナンス ☎35-0583

\手続き不要 /

減免しています 水道料金などの基本料金

町では、次の期間、水道・下水道等使用料の基本料金を減免しています。

▶減免期間 令和4年10月請求分(9月使用分) ~令和5年3月請求分(2月使用分)まで

※減免の対象など詳しくは、広報いほく8月号に掲載しています。

※口座振替ご利用で減免により請求額が0円となる場合は振替を行っていませんのでご注意ください。

社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
町内 35-1270

http://reihokushakyo.com
reihoku.shakyo@ari.bbiq.jp

生活福祉資金貸付制度のご案内

資金の貸付と必要な相談支援を行います。経済的自立および生活意欲の助長、在宅福祉ならびに社会参加の促進を図り、安定した地域生活を送れるよう支援します。

▶対象

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯
※多重債務、他の公的資金を借り入れているなどの場合は対象外となりますので、あらかじめ社会福祉協議会にご確認ください。

▶貸付制度

▷総合支援資金（本則貸付）
失業などで日常生活全般に困難を抱えている世帯に対し、生活の立て直しのために生活費と一時的な資金を貸し付ける制度です。

①生活支援費
(生活再建までの間に必要な生活費用)
②住宅入居費
(敷金、礼金など住宅の賃借契約を結ぶために必要な費用)
③一時生活再建費
(生活再建に一時的に必要かつ日常生活費で賄うことのできない費用)

▷福祉資金
日常生活を送る上で、自立生活を営むために、一時的に必要と見込まれる費用を貸し付ける制度です。
①生業を営むために必要な経費②技能習得に必要な経費③住宅の増改築、補修などに必要な経費④福祉用具などの購入、福祉サービス

利用に必要な経費⑤障がい者用自家用車の購入に必要な経費⑥災害を受けたことにより臨時に必要となる経費⑦冠婚葬祭に必要な経費⑧住居の移転などにより給排水設備などの設置に必要な経費⑨就職、技能を習得などの支度に必要な経費⑩その他の日常生活上に必要な経費

▷教育支援資金

教育に関連した費用を貸し付ける制度です。

①教育支援費

国公立、私立の高等学校、短期大学、大学または高等専門学校に修学するのに必要な費用を無利子で借りることができます。

②高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校への入学に必要な費用（入学のときの教材、カバン、制服、靴など）を無利子で借りることができます。

※新型コロナウイルス感染症により実施していた生活福祉資金特例貸付（①緊急小口資金②総合支援資金）の申請・受付については、令和4年9月末で終了しましたのであらかじめご了承ください。

無料でお譲りします

福祉機器リサイクルコーナー

このコーナーは、不要になった福祉機器などを寄付していただき、必要な人に利用していただくためのリサイクルコーナーです。

◎ベビーゲート（フェンス） 1台



申込受付期限

希望する人は、令和5年1月10日㊁までに芥北町社会福祉協議会へお申し込みください。希望者多数の場合は、抽選になります。

*抽選は、令和5年1月11日㊁午前9時に芥北町保健センターで行います。印鑑（認印可）をご持参ください。

【問い合わせ先】 ☎35-1270

こんにちは！

芥北町地域包括支援センターです



今月の通いの場は都呂々の唐干田地区で行われている「にこにこサロン」をご紹介します。
※「通いの場」とは、地域の人が近くの集会所や公民館等に集まり、体操等の様々な活動を行う場。

にこにこサロン（都呂々一区）

■開催日

毎月第2・4水曜日 13:30~15:00

■開催場所

1区集会所

■活動内容

体操、レクリエーション、脳トレ など



にこにこサロンは、毎回5、6人程度、多い時は9人程の参加があり、体操やレクリエーションを主に行っています。

参加者は体操を行う前に世間話から始まります。ここが色々な情報交換の場になっている様です。

最近は、男性の参加者も増え、無理なく体調に合わせて活動しています。

皆さんも参加してみませんか？

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため消毒・換気などを徹底して行っています。

また、感染状況によっては活動時間を1時間に短縮しています。

問い合わせ先

芥北町地域包括支援センター（芥北町保健センター内）

☎35-1289（平日 8:30~17:15）



大切な町 きれいにしたい

富岡地区女性の会 海岸清掃

富岡地区女性の会は11月19日㊁、東海岸の海岸清掃を行いました。

「自分たちの住む町をきれいにしたい」という思いから年に一回、女性の会で集まり20年以上になるそうです。

当日はあいにくの雨模様での作業となりましたが、約1時間海岸に漂着したごみの清掃作業を行い、東海岸は見違えるほどきれいに。

高村政子会長は、「コロナ禍で活動が制限されていますが、できることからみんなで仲良く活動していきたい」と笑顔で話しました。



漂着したごみを収集する女性の会の皆さん

サツマイモ たくさんとれたよ

富岡小1、2年生サツマイモの収穫

富岡小学校は12月6日㊂、恒例のサツマイモ収穫体験を行いました。

同地区の植田一人さんが土地の提供や、普段の管理まで全面的な協力を毎年実施されているこの収穫体験。

児童らはサツマイモを力いっぱい収穫すると大喜び。収穫した緒方大陽さんは、「おいもがたくさんとれてうれしかったです」と満面の笑みを浮かべました。収穫されたサツマイモは家庭に持ち帰り、家族での食卓で提供されます。



たくさんとれたよ

初期消火で延焼拡大を防ぐ

シープル駐車場での車両火災 表彰

アタックスマートシープル店の従業員、金子浩和さんが11月7日㊃、天草広域連合消防本部の寺岡消防長から表彰状の贈呈を受けました。

今回の表彰は、9月3日㊁のお昼の時間帯、同店駐車場で発生した車両火災において、金子さんが消火器で初期消火を行ったことで、休日で多くの車が駐車している状況でも、被害を最小限に抑えることができたことから行われたものです。



消火活動を行った金子さん(写真右から2番目)

坂瀬川のみどころ満載

坂瀬川みどころめぐり 3年ぶりに開催

坂瀬川みどころめぐりは12月11日㊁、坂瀬川公民館をスタート、ゴールに開催されました。

約7キロのアップダウンのあるコースで行われたこのイベントには、町内から76人が参加。歩いた人のなかで最年少は4歳の東花さん、最高齢は錦戸妙枝さんで年齢は87歳と幅広い世代の皆さんが参加しました。

参加者からは「普段歩くことのない道を歩くことができよかったです」「つきあががおしゃべりました」「坂瀬川でもしらないことありました」など満足の声。坂瀬川の冬のみどころを満喫しました。



ぜんざいうまか～



家族仲良く歩きました♪

天草の文化発展への尽力が認められる

平井建治さん 文化功労者顕彰 受賞

天草文化協会の副会長を務める平井建治さん(富岡)が11月24日㊂、熊本市のホテル日航熊本で行われた「令和4年度荒木精之記念文化功労者」の表彰を受けました。

平井さんは天草文化協会の事業拡大に尽力されたことや、天草歴史文化研究所を主宰し、歴史に埋もれていた近代天草人の功績を次々に発表。「天領」「陣屋町」の研究を深めたことなどが認められ、今回の受賞となりました。



町長室での報告の様子(11月25日) (写真中央: 平井さん)

かげろうお銀 荻北へ

由美かおるさん 国照寺を訪問

昭和の人気時代劇「水戸黄門」にかげろうお銀役などで出演した女優の由美かおるさんが12月9日㊃、国照寺を訪問しました。

天草八十八カ所の接待所モニターツアーの一環として訪れた由美さん。お母さんが天草市出身で、「天草と一緒に盛り上げたい」との思いから、たびたび天草を訪問されているそうです。

由美さんは、荻北町指定文化財で現在国照寺内に安置してある一佛二十五菩薩や、自然あふれる禅庭園を満喫し、楽しそうに荻北時間を過ごしました。



一佛二十五菩薩を眺める由美さん

荻北生まれの新米ばどうぞ

JAれいほく米部会から70キロの贈呈

JAれいほく米部会(田嶋豊昭部会長)は11月16日㊂、町内小中学校へお米約70キロを贈呈しました。

これは、荻北産のお米を学校給食で使ってほしいとの思いから米部会より毎年無償提供されているものです。

田嶋会長は「今年の新米です。たくさん食べてください」と笑顔で話しました。

贈呈を受けたお米は、11月18日以降の学校給食で、早く児童らに振る舞われました。



おいしいお米は食べてください

身も心もおしゃれに

おしゃれフェスタ 3年ぶりに開催

おしゃれフェスタが11月19日㊁、志岐集会所ホールで開催されました。

「心も身体もおしゃれに!!コロナに負けずに頑張っている私たち!!」をテーマに3年ぶりの開催された本イベントには、町内から8団体が出場。

一人一人がこだわりの「おしゃれ」を身にまとい、スポットライトを浴びていました。

また、今回のおしゃれフェスタでは富岡公民館でのライブ配信も実施されました。



それぞれの「おしゃれ」を披露した参加者の皆さん



“食の応援団”
チームばくばく
今月のRECIPE

せんだご汁

町の保育園と小、中学校では月に1回同じ日に、食育共通実践の月目標に沿った共通メニューを提供しています。家庭の食卓で、給食の話題を楽しみ、食べ物の興味関心が高まる目的としています。

● 共通メニュー実施日
1月18日(水)

せんだご汁は天草の郷土料理です。保育園で収穫したサツマイモを使用して作ることが多く、秋から冬にかけて給食に登場します。温かい汁物を食べて寒さを吹き飛ばし、新しい年も元気にお過ごしましょう。



家族で一緒に
クッキング

● 材料 (4人分)

- サツマイモ 160g
- 芋でんぶん 50g
- 鶏モモ肉(細切れ) 40g
- ゴボウ 30g
- ニンジン 40g
- 白菜 40g
- 薄あげ 20g
- 乾シイタケ 4g
- ネギ 10g
- 料理酒 4g
- 薄口醤油 15g
- だし汁(煮干し) 600g

● 作り方

- ①サツマイモをゆでる。煮えたらゆで汁を別の容器にとり、芋をつぶし芋デンブンを混ぜてしっかりこねる。水分が不足してまとまらない時は、とっておいたゆで汁を加えてかたさを調整する。
- ②①を棒状にする。
- ③ゴボウはささがき、他の食材は食べやすい大きさに切る。
- ④だし汁の中に煮えにくい食材から入れ、煮えたら調味料で味を調える。棒状のせんだごを5ミリくらいに切り入れ、だんごが浮き上がってきたらできあがり。

苔北町子育て支援センター

ふれあい広場

ひだまり

ママたちのQ&A

Q: 寒い時期の赤ちゃんの肌着はどんなものがよいでしょうか?

A: この時期の肌着は、季節を問わない綿生地のほか、保温性の高いパイル生地などが適しています。赤ちゃんは、大人よりも体温が高いため、寒いからといって着せすぎると汗をかいてしまうこともあります。暖かい室内で過ごす場合は、半袖の下着を着せ、洋服で調節するようにしましょう。夜寝る時は、股下をボタンで留めるロンパースタイプの肌着だと、おなかが冷える心配もありません。生後間もなくは短肌着・長肌着やコンビ肌着を使い分けられますが、成長するにつれ肌着の着せ方に悩みますね。その日の気温や過ごし方によってうまく使い分けていきましょう。

苔北町子育て支援センターのInstagramを開設しました!右記の二次元コードを読み取って、ぜひご覧いてみてくださいね。



アンパンマンと一緒に



びい〜っ☆

■開設日時 平日の午前9時30分~午後3時 ■開設場所 新ふれあい館 ☎31-1365

得意分野・弱点克服を知る機会

スポーツ能力測定会 in 苔北

スポーツ能力測定会が11月12日(土)、志岐小学校体育館で行われました。

苔北チーム熊日杯親善ゲートボール大会で優勝

第14回熊日杯親善ゲートボール大会は11月8日(日)、天草市の錦島運動広場で行われ、「苔北1」チームが出場し、見事優勝しました。

本年度は、目標としていた熊本県民体育祭が台風の影響で中止に。同チームの選手兼監督を務める森隆志さんは「普段からみんなで和気あいあいと練習しています。やっとここさ優勝できました。うれしかったですね」と笑顔で話しました。



優勝に笑顔を見せる苔北1チームの皆さん



精一杯がんばりました



拍手に笑顔で応える山縣さん

食器を大切にする思いを育むために

伝統の絵付け体験

苔北中学校の3年生61人は12月6日(日)、天草陶石で作られた茶碗の絵付け体験を行いました。

給食用の食器に生徒がオリジナルの絵付けを行うことで、食器に愛着を持たせ、大切に扱う気持ちを育むことを目的に毎年実施されています。

絵付けを体験した給食委員長の田中晴那さんは、「絵付けの大変さ、楽しさがわかりました。給食で使う皿を大切に使おうと思います」と笑顔を見せました。



最高の雰囲気でゴール



上手に描けました♪

みんなのひろば

この欄は、みなさんと一緒につくるページです。
楽しい行事やご要望など、お気軽に広報係へ

総務課広報係

内207

俳壇

なぎさ 12月句会より

童顔は昔のままよ敬老日	阪本 礼之
餅を搗く杵音高き母屋かな	小川 文平
網轡う冬日やさしく黙々と	高戸 直樹
城郭の反り立つすそにつわの花	宮崎 甫毬
つわの花日陰に咲くも輝いて	浜口 雅英
捨てされぬ物に埋もれし師走かな	森 恵美子
一人占め出来し炬燵の淋しさよ	森田 和子
雲仙へ渡れそうなる月の海	永野 清江
冬晴やワールドカップどよめきし	登本 正子
物忘れお互い様と秋の夜	高橋 正美
列をなし出迎へるごと石蕗の花	三原 千秋
錦秋の山遙かなり友偲ぶ	金子かをる
花の色思ひ浮かべて球根植ふ	宮崎 益美
椿の実本音ぽろりとこぼしけり	田中美津子



(作品)

自分たちの希望が叶った配役に大喜び!!練習では、年長児がリードする場面が見受けられました。本番は大きなステージにドキドキ緊張したけど、役になりきってがんばったよ！

学校自慢 / 富岡小学校6年

担任:田上 慶子先生、若松 健智先生
(男子6人 女子8人 計14人)



クラスの自慢

「⑤けぬけよう！⑥スト1年を⑦ルパワーで⑧ンルンと」をスローガンに、最上級生としてがんばっています。

クラスから先生へ

いつも優しい先生。時には厳しくクラス思いありがとうございます。クラスの自慢の先生です。

先生からクラスへ

カラフルに個性が輝くクラスで毎日とても楽しいです。最上級生としてがんばってくれてありがとうございます。

小学生の作品 / 坂瀬川小学校 5年



坂瀬川小学校では、十月二十日に地域交流会が行われ、私たち5年生は、絵手紙づくりに取り組みました。地域の皆さんに教えていただいたて、とても素敵な作品ができました。

大切な人へのメッセージをそえた心のこもった1枚です。

「心をこめて」



▶ profile

太田 美恵さん

坂瀬川出身。狸河内区在住。44歳。41歳から心理学を学び、全米NLP協会マスター・プラクティショナー、JADP(日本能力開発推進協会)認定のメンタル、上級、家族療法、チャイルドカウンセラーなどのさまざまな資格を取得。「自分の人生は自分で創る」をモットーに、明るく楽しい人生を目指す。

昨年10月に心理学の資格を取得する中で、講師の先生から「行動の美を魅せる大会があるんだよ」とアドバイスを受け、同大会の存在を知った太田さん。「行動の美コンテスト」が結び付かなかつた太田さんは、申し込み期限ギリギリまで悩みましたが、「SNSでコンテストの動画などを見る中で、ドレスを着て高いヒールを履く非日常を経験する」など、「自分に対

Mrs. of the Year 2022 熊本大会 太田 美恵さん Precious 部門 グランプリ受賞

一步前に踏み出す勇気が力に――



磨き抜いた 「行動の美」

【Mrs. of the Year 2022 熊本大会】が8月6日、熊本森都心プラザホールで行われ、太田美恵さん（狸河内）が出場し、Precious部門（43～60歳部門）において見事グランプリを得た。9月24日に千葉県の幕張メッセで行われたジャパンファイナルに出場しました。

迎えた熊本大会当日。見事グランプリとなり、スポットライトを浴びた太田さんは「心底嬉しい」という感情より先に、家族や支えてくれた人への感謝の気持ちでいっぱいになつた」と振り返りました。この大会を経験した太田さんは、「未来の子どもたちに何を残せるか、そのために私たちが何をできるのかが大切」と話します。一歩前に踏み出し、行動の美を磨き抜いた太田さんの笑顔は、西海岸のきらめく海のように輝いて映りました。

12月11日に行われた「坂瀬川みじかみ巡り」――小さい頃からお互いに切磋琢磨することで、人間的にも成長したそうです。自分に負い目を感じることもありましたが、生き生きと取り組む母の姿に家族の絆も深まりました。迎えた熊本大会当日。見事グランプリとなり、スポットライトを浴びた太田さんは「心底嬉しい」という感情より先に、家族や支えてくれた人への感謝の気持ちでいっぱいになつた」と振り返りました。この大会を経験した太田さんは、「未来の子どもたちに何を残せるか、そのために私たちが何をできるのかが大切」と話します。一歩前に踏み出し、行動の美を磨き抜いた太田さんの笑顔は、西海岸のきらめく海のように輝いて映りました。



熊本大会での太田さん

し一步踏み出す決意表明をしたい」と思い、エントリーしました。

大会前に行われた計7日間のビューティキャンプでは、さあまあま思いで申し込んだ人と出会い、お互いに切磋琢磨することで、人間的にも成長したそうです。自分に負い目を感じることもありましたが、生き生きと取り組む母の姿に家族の絆も深まりました。

12月11日に行われた「坂瀬川みじかみ巡り」――小さい頃からお互いに切磋琢磨することで、人間的にも成長したそうです。自分に負い目を感じることもありましたが、生き生きと取り組む母の姿に家族の絆も深まりました。

編集好機

■ 発行／奈北町役場 〒863-2503 熊本県天草郡奈北町志岐660番地
■ 0969-35-1111 ■ 0969-35-2454
■ 発行日／令和4年12月21日 ■ 編集／総務課
■ 印刷／株印刷センター

（松浦雄也）